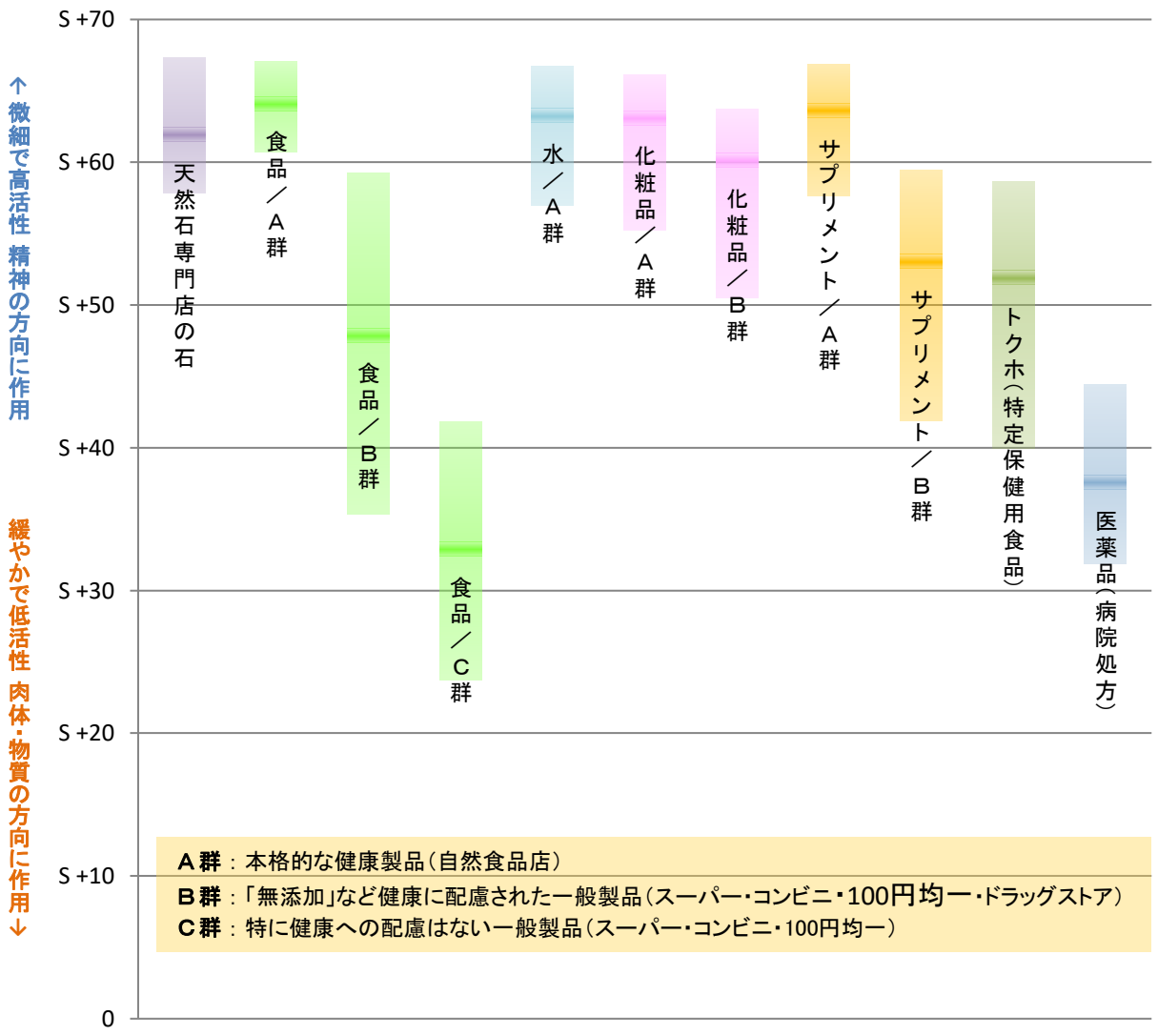
様々な製品の波動分布 Ⅰ

《 活性度（波動値の高さ）》



■ 各製品の波動値は、**高いところ、中間的なところ、低いところ** と、様々な領域にあります（波動の分布）。
上のグラフでは、カテゴリー別に、製品の**約70%（中央値と、その上下35%ずつ）**が分布すると推定される範囲を描いています。＊ お手元の波動値（検体の平均値）が上図のなかでどこに位置するのかをご覧ください。一般に、上下とも、中央値に近いほど、該当する製品の数は多くなります。

＊ したがって、その上下（描かれていない部分）にも、格別高い、もしくは低い製品が15%ずつ存在していることになります。

■ グラフ全体についても、波動の高さとして中央付近（S +40 ～ S +50）に位置する製品は、一般的で需要の多いものであると考えられます。

■ カテゴリーの分類に際しては、**「健康」「自然」「生命力」「感情・精神」「（作り手・売り手の）意識」**など、波動値の高低に反映する要因を手掛かりとしました。